

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成31年3月7日 (2019.3.7)

【公表番号】特表2018-511208(P2018-511208A)

【公表日】平成30年4月19日 (2018.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2018-015

【出願番号】特願2017-541910(P2017-541910)

【国際特許分類】

H 0 4 N 21/845 (2011.01)

H 0 4 N 19/70 (2014.01)

H 0 4 N 19/30 (2014.01)

H 0 4 N 19/597 (2014.01)

H 0 4 N 5/926 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 21/845

H 0 4 N 19/70

H 0 4 N 19/30

H 0 4 N 19/597

H 0 4 N 5/926 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月24日 (2019.1.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マルチレイヤビデオデータを処理する方法であって、

2 つ以上の動作点を備えるマルチレイヤビデオデータを取得することと、

前記マルチレイヤビデオデータをあるファイルフォーマットで記憶することと、ここにおいて、前記ファイルフォーマットが、前記マルチレイヤビデオデータに含まれる前記動作点を識別する動作点情報 (o i n f) ボックスを含む、

前記 o i n f ボックスに、前記マルチレイヤビデオデータの各動作点のための表現フォーマット情報を記憶することと、ここにおいて、前記表現フォーマット情報が、空間分解能、ビット深度、又は色フォーマットの 1 つ以上を備える、

前記ファイルフォーマットに従ってフォーマットされたビデオデータのファイルを生成することと

を備える、方法。

【請求項 2】

前記ファイルフォーマットの前記 o i n f ボックスに、前記マルチレイヤビデオデータの各動作点のためのビットレート情報を記憶することと、

前記ファイルフォーマットの構成ボックスの後でビットレートボックスを信号伝達しないことと

を更に備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

プロファイル、ティア、及びレベル (P T L) 情報と、表現フォーマット情報と、フレームレート情報とを、前記ファイルフォーマットのデコーダ構成記録に記憶しないことと

、
前記デコーダ構成記録中の全ての情報を、トラック中の前記マルチレイヤビデオデータの全てのレイヤと関連付けることと

を更に備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

表現フォーマット情報とフレームレート情報とを、前記マルチレイヤビデオデータの各レイヤのためのデコーダ構成記録に記憶することを更に備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

パラレルリズム情報を前記マルチレイヤビデオデータの各レイヤのための前記デコーダ構成記録に記憶することを更に備える、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記ファイルフォーマットのデコーダ構成記録に動作点インデックスを記憶しないことを更に備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記ファイルフォーマットのデコーダ構成記録に前記マルチレイヤビデオデータのトラックと関連する動作点インデックスのリストを記憶することを更に備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記ファイルフォーマットの前記 `o i n f` ボックスにレイヤカウントを記憶することを更に備え、前記レイヤカウントが前記マルチレイヤビデオデータの動作点の必要なレイヤの数を示す、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 `o i n f` ボックスがメディア情報ボックスに含まれる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記 `o i n f` ボックスが更にサンプルグループ記述ボックスに含まれ、前記サンプルグループ記述ボックスがサンプルテーブルボックスに含まれ、前記サンプルテーブルボックスが前記メディア情報ボックスに含まれる、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記マルチレイヤビデオデータの各動作点が、それぞれ、別のビットストリームを用いたサブビットストリーム抽出プロセスの動作によって、前記別のビットストリームから作成されるビットストリームを備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

マルチレイヤビデオデータを処理するためのビデオ機器であって、

前記マルチレイヤビデオデータを記憶するように構成されるデータ記憶媒体と、

1 つ以上のプロセッサを備え、前記 1 つ以上のプロセッサが、

2 つ以上の動作点を備えるマルチレイヤビデオデータを取得し、

前記マルチレイヤビデオデータをあるファイルフォーマットで記憶し、ここにおいて、前記ファイルフォーマットが、前記マルチレイヤビデオデータに含まれる前記動作点を識別する動作点情報 (`o i n f`) ボックスを含む、

前記 `o i n f` ボックスに、前記マルチレイヤビデオデータの各動作点のための表現フォーマット情報を記憶し、ここにおいて、前記表現フォーマット情報が、空間分解能、ビット深度、又は色フォーマットの 1 つ以上を備える、

前記ファイルフォーマットに従ってフォーマットされたビデオデータのファイルを生成する

ように構成される、ビデオ機器。

【請求項 13】

前記 1 つ以上のプロセッサが更に、

前記ファイルフォーマットの前記 `o i n f` ボックスに、前記マルチレイヤビデオデータの各動作点のためのビットレート情報を記憶し、

前記ファイルフォーマットの構成ボックスの後でビットレートボックスを信号伝達しな

い

ように構成される、請求項 1 2 に記載の機器。

【請求項 1 4】

前記 1 つ以上のプロセッサが更に、

プロファイル、ティア、及びレベル (P T L) 情報と、表現フォーマット情報と、フレームレート情報とを、前記ファイルフォーマットのデコーダ構成記録に記憶せず、

前記デコーダ構成記録中の全ての情報を、トラック中の前記マルチレイヤビデオデータの全てのレイヤと関連付ける

ように構成される、請求項 1 2 に記載の機器。

【請求項 1 5】

前記 1 つ以上のプロセッサが更に、

表現フォーマット情報とフレームレート情報とを、前記マルチレイヤビデオデータの各レイヤのためのデコーダ構成記録に記憶するように構成される、請求項 1 2 に記載の機器

。

【請求項 1 6】

前記 1 つ以上のプロセッサが更に、

パラレルizm 情報を前記マルチレイヤビデオデータの各レイヤのための前記デコーダ構成記録に記憶するように構成される、請求項 1 5 に記載の機器。

【請求項 1 7】

前記 1 つ以上のプロセッサが更に、

前記ファイルフォーマットのデコーダ構成記録に動作点インデックスを記憶しないように構成される、請求項 1 2 に記載の機器。

【請求項 1 8】

前記 1 つ以上のプロセッサが更に、

前記ファイルフォーマットのデコーダ構成記録に前記マルチレイヤビデオデータのトラックと関連する動作点インデックスのリストを記憶するように構成される、請求項 1 2 に記載の機器。

【請求項 1 9】

前記 1 つ以上のプロセッサが更に、

前記ファイルフォーマットの前記 o i n f ボックスにレイヤカウントを記憶するように構成され、前記レイヤカウントが前記マルチレイヤビデオデータの動作点の必要なレイヤの数を示す、請求項 1 2 に記載の機器。

【請求項 2 0】

前記 o i n f ボックスがメディア情報ボックスに含まれる、請求項 1 2 に記載の機器。

【請求項 2 1】

前記 o i n f ボックスが更にサンプルグループ記述ボックスに含まれ、前記サンプルグループ記述ボックスがサンプルテーブルボックスに含まれ、前記サンプルテーブルボックスが前記メディア情報ボックスに含まれる、請求項 2 0 に記載の機器。

【請求項 2 2】

前記マルチレイヤビデオデータの各動作点が、それぞれ、別のビットストリームを用いたサブビットストリーム抽出プロセスの動作によって、前記別のビットストリームから作成されるビットストリームを備える、請求項 1 2 に記載の機器。

【請求項 2 3】

マルチレイヤビデオデータを処理するためのビデオ機器であって、

2 つ以上の動作点を備えるマルチレイヤビデオデータを取得するための手段と、

前記マルチレイヤビデオデータをあるファイルフォーマットで記憶するための手段と、
ここにおいて、前記ファイルフォーマットが、前記マルチレイヤビデオデータに含まれる前記動作点を識別する動作点情報 (o i n f) ボックスを含む、

前記 o i n f ボックスに、前記マルチレイヤビデオデータの各動作点のための表現フォーマット情報を記憶するための手段と、ここにおいて、前記表現フォーマット情報が、空

間分解能、ビット深度、又は色フォーマットの1つ以上を備える、

前記ファイルフォーマットに従ってフォーマットされたビデオデータのファイルを生成するための手段と

を備える、ビデオ機器。

【請求項24】

前記 `o i n f` ボックスがメディア情報ボックスに含まれる、請求項 23 に記載の機器。

【請求項25】

前記 `o i n f` ボックスが更にサンプルグループ記述ボックスに含まれ、前記サンプルグループ記述ボックスがサンプルテーブルボックスに含まれ、前記サンプルテーブルボックスが前記メディア情報ボックスに含まれる、請求項 24 に記載の機器。

【請求項26】

命令を記憶する非一時的コンピュータ可読記憶媒体であって、前記命令が、実行されると、1つ以上のプロセッサに、

2つ以上の動作点を備えるマルチレイヤビデオデータを取得させ、

前記マルチレイヤビデオデータをあるファイルフォーマットで記憶させ、ここにおいて、前記ファイルフォーマットが、前記マルチレイヤビデオデータに含まれる前記動作点を識別する動作点情報 (`o i n f`) ボックスを含む、

前記 `o i n f` ボックスに、前記マルチレイヤビデオデータの各動作点のための表現フォーマット情報を記憶させ、ここにおいて、前記表現フォーマット情報が、空間分解能、ビット深度、又は色フォーマットの1つ以上を備える、

前記ファイルフォーマットに従ってフォーマットされたビデオデータのファイルを生成させる、

非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項27】

前記 `o i n f` ボックスがメディア情報ボックスに含まれる、請求項 26 に記載の非一時的コンピュータ可読記憶媒体。

【請求項28】

前記 `o i n f` ボックスが更にサンプルグループ記述ボックスに含まれ、前記サンプルグループ記述ボックスがサンプルテーブルボックスに含まれ、前記サンプルテーブルボックスが前記メディア情報ボックスに含まれる、請求項 27 に記載の非一時的コンピュータ可読記憶媒体。